

EXCELLENT & DYNAMIC

2022年度 決算概要

2023年6月12日

代表取締役専務執行役員
管理本部長
豊原 浩



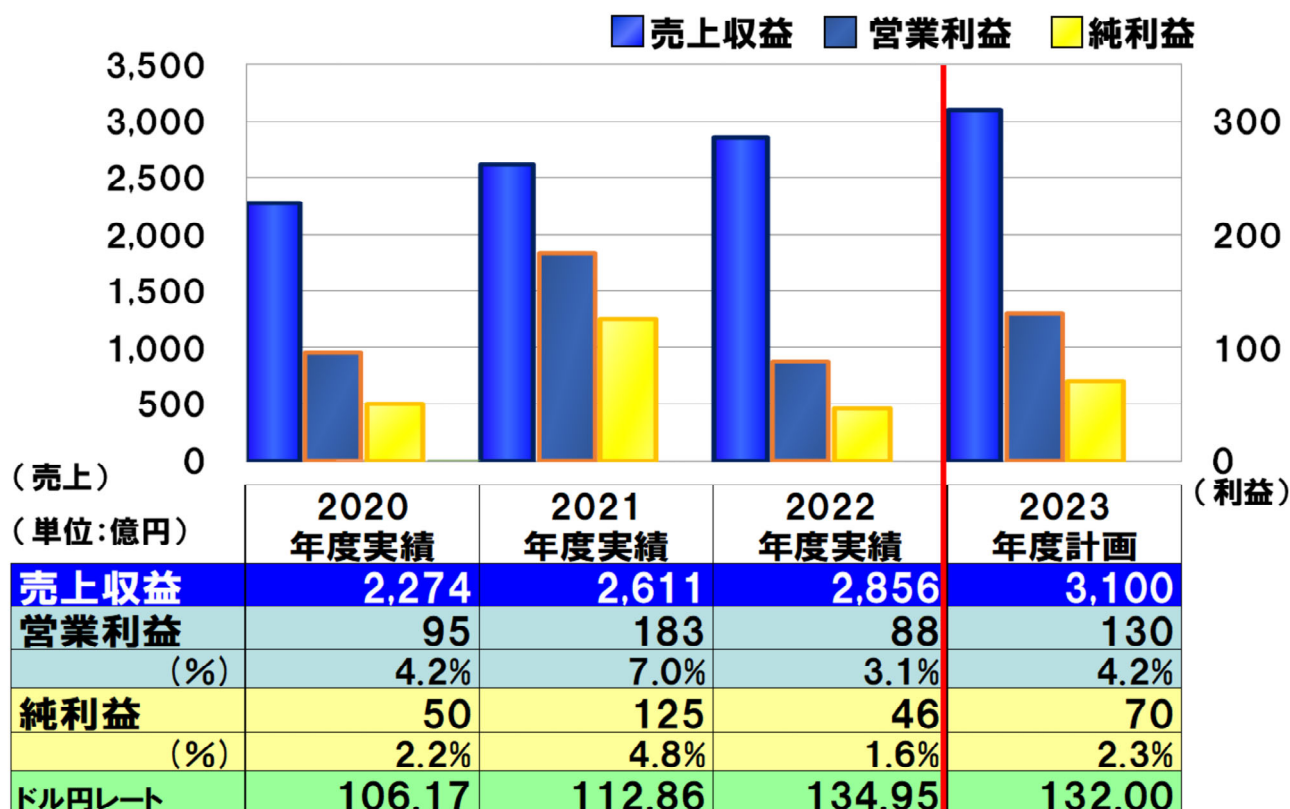
金額は億円未満を四捨五入しております。
数値はIFRS基準にて表示しております。

EXEDY
株式会社エクセディ

株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

1 | 19

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の決算概要、および2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の見込についてご説明申し上げます。



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

2 | 19

【営業成績】

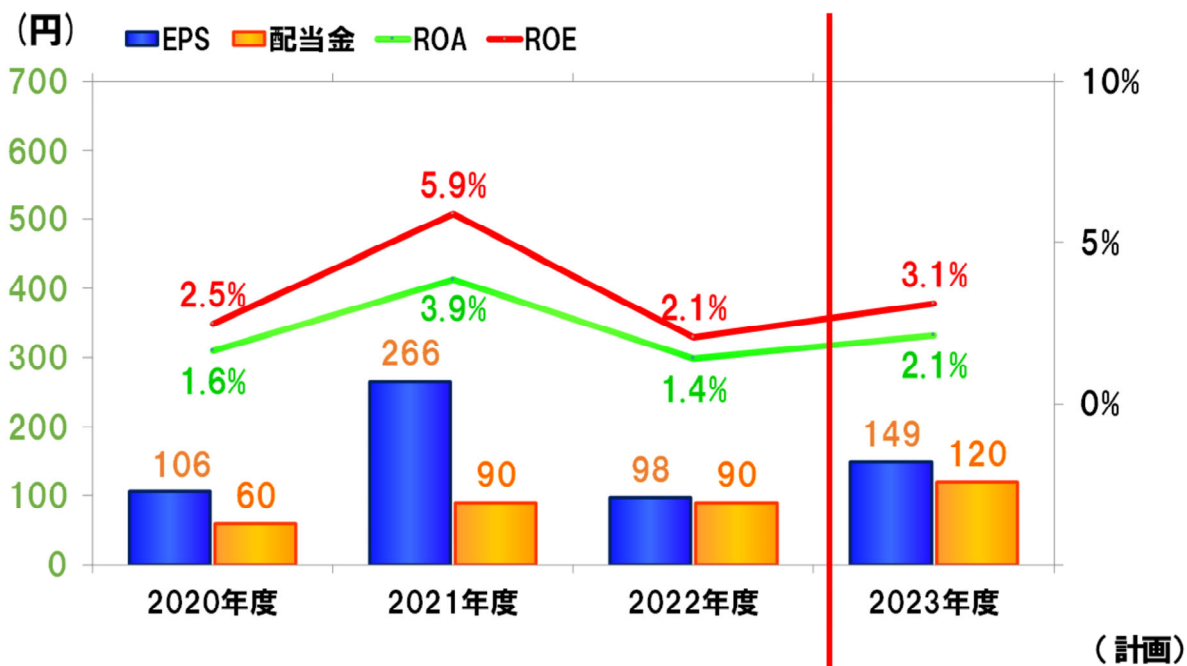
連結売上収益、営業利益、純利益の推移でございます。

2022年度は、中国における新型コロナウイルス感染症によるロックダウンや半導体不足による得意先の減産により受注は減少したものの、円安が進行したことによる為替の影響等により、売上収益は前連結会計年度比9.4%（245億円）増の2,856億円となりました。

利益面では、受注の減少及び素材（鋼材・樹脂など）価格の高騰に加え、当社、米国子会社、及び国内子会社における有形固定資産の減損損失42億円を計上した影響により、営業利益は前連結会計年度比52.2%減の88億円、純利益（親会社の所有者に帰属する部分）は同63.2%減の46億円となりました。

2023年度においては、中国におけるAT製品の増産を計画しており、売上収益は2022年度比8.5%（244億円）増の3,100億円、営業利益、純利益（親会社所有者に帰属する部分）についてはそれぞれ130億円、70億円を予定しております。

2021年度対2022年度、2022年度対2023年度の利益増減要因については後ほど説明させていただきます。



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

3 | 19

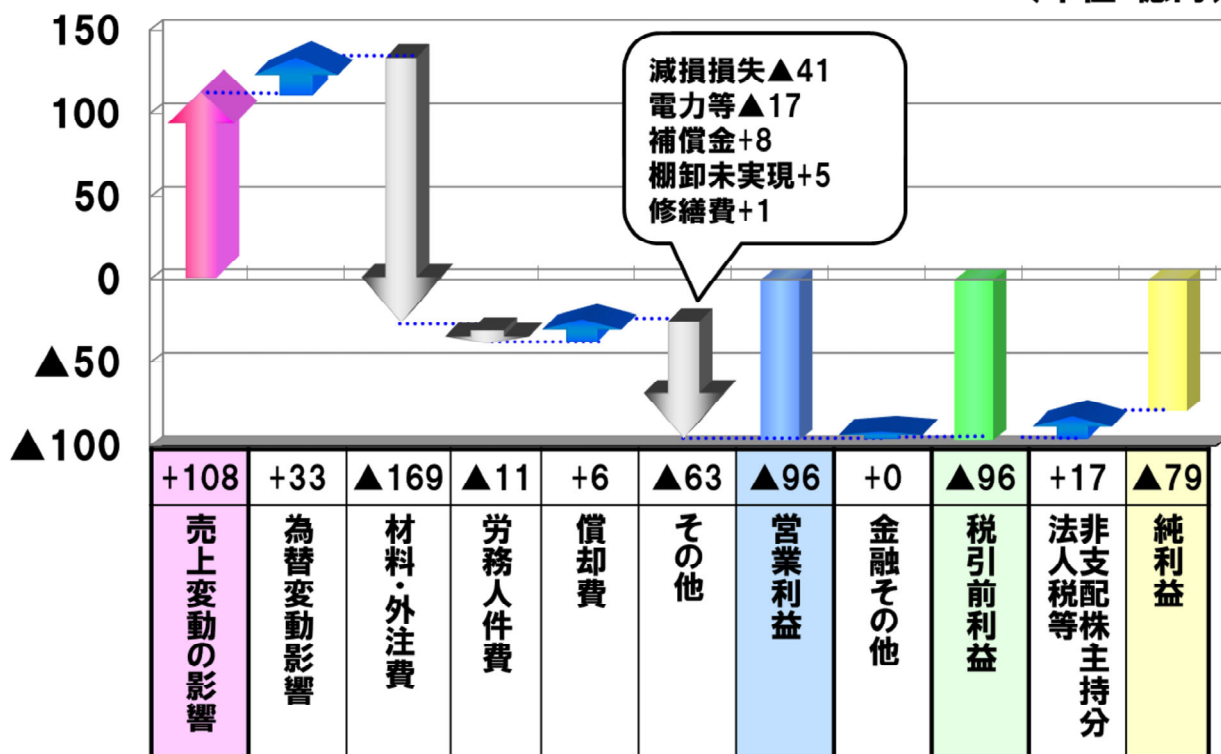
【指標推移】

ROA、ROE及び1株当たり利益（EPS）、配当金の推移でございます。

2021年度、2022年度は配当を1株当たり年間90円とさせていただきましたが、2023年度は1株当たり年間120円とさせていただく予定でございます。

利益増減要因（22年度実績 vs. 21年度実績）

（単位：億円）



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

4 | 19

【利益増減要因（22年度実績vs21年度実績）】

2022年度対2021年度の利益増減要因でございます。

2021年度に引き続き、2022年度も素材市況の高騰による材料費の上昇があり利益を圧迫しましたが、調達部門の抑制活動、営業部門の顧客への売価転嫁交渉の結果、利益へのインパクトをかなり抑えることが出来ました。

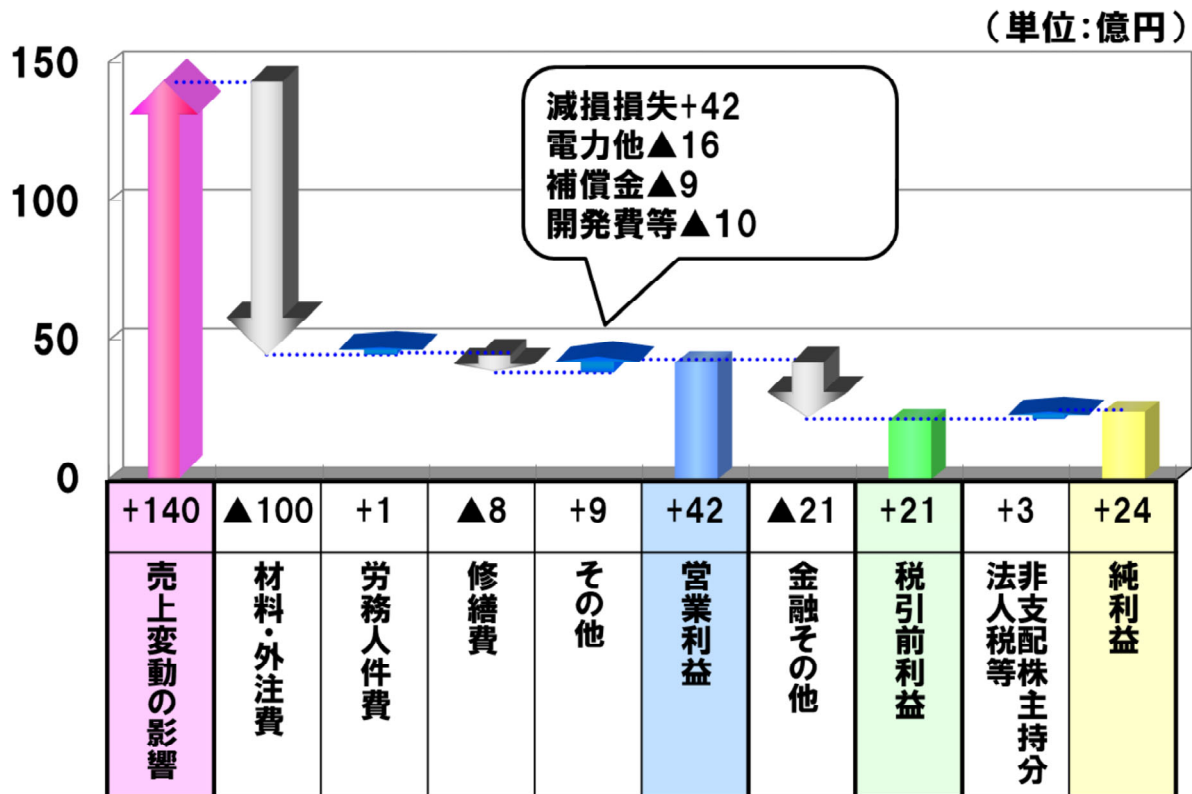
（売上変動の影響のうち、素材市況の上昇を売価へ転嫁した影響が利益増加方向で160億円程度あり、受注減少の影響が▲50億円となります。）

一方、事業環境の変化により、当社、米国子会社、国内子会社において有形固定資産の減損損失42億円を計上したことが利益を大きく押し下げております。

また、電力等エネルギー価格他各種コストの上昇も利益を押し下げました。素材以外のコスト上昇についても、影響を最小化するべく、今後顧客への転嫁及び社内改善等の活動を進めて参ります。

その他、メキシコ子会社における補償受取等一過性の増益要因はありますが、96億円の営業利益減少となりました。

利益増減要因（23年度計画 vs. 22年度実績）



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

5 | 19

【利益増減要因（23年度計画vs22年度実績）】

2023年度計画対2022年度実績の利益増減要因でございます。

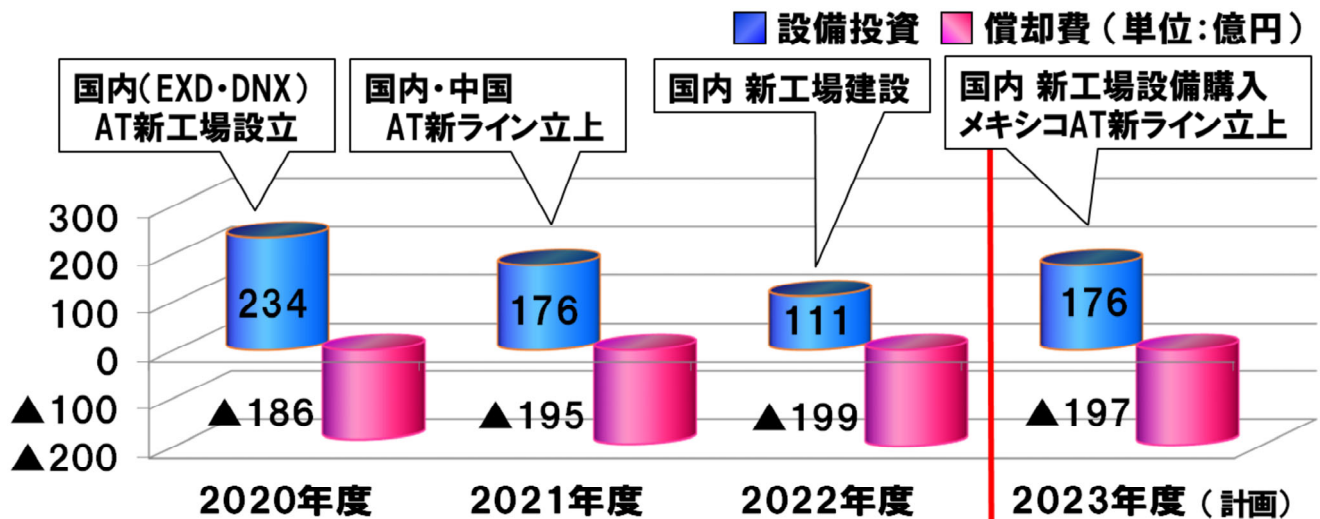
2023年度については、AT領域での受注増加を見込んでおり、その影響により増益となる見込みです。

引き続き素材・エネルギー価格等のコスト上昇はございますが、調達部門による抑制活動・営業部門による顧客への転嫁活動・社内改善等全社をあげて抑制に取り組む計画です。

また、前期補償金受領分の減益に加え、今後の新規ビジネス拡大に向けた開発費の増加なども見込む一方、前期計上の減損分は増益方向のインパクトとなり、この結果、営業利益は42億円増加する見込みです。

設備投資

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来



	投資	償却	投資	償却	投資	償却	投資	償却
AT	166	137	147	144	59	147	103	146
MT	61	32	18	35	43	36	56	35
その他	7	17	11	16	9	17	17	16

株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

6 | 19

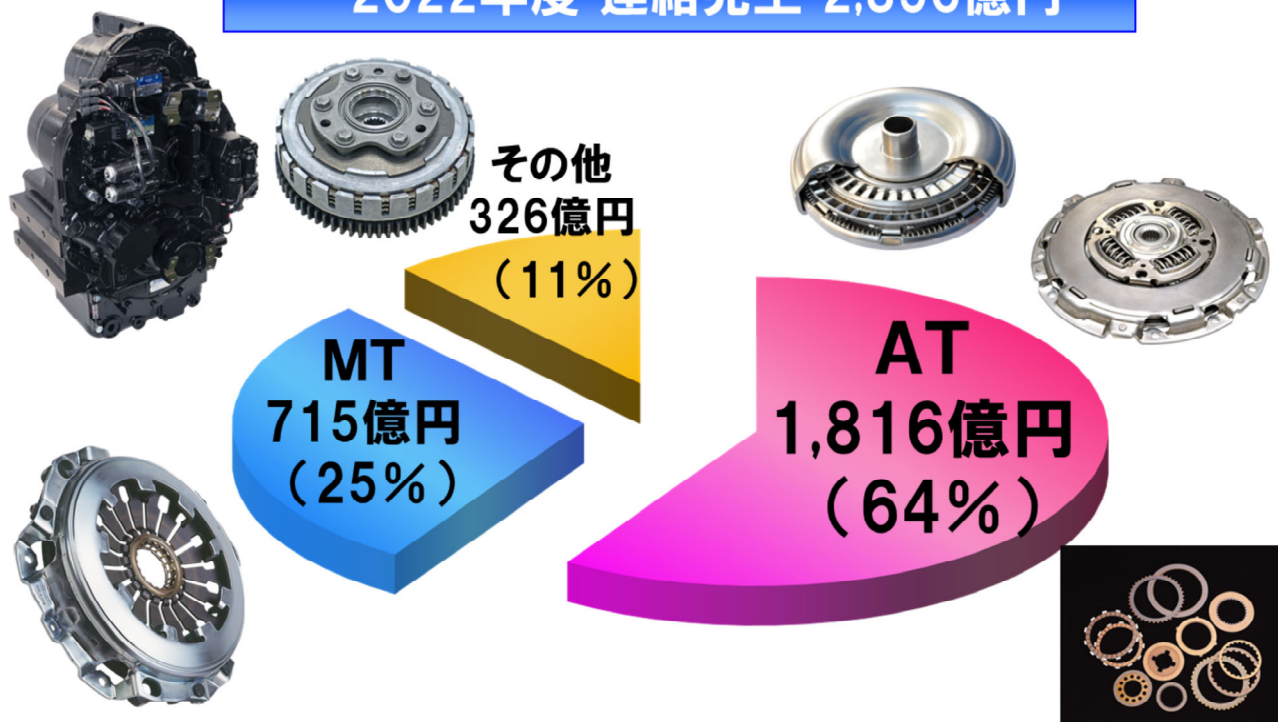
【設備投資】

設備投資と減価償却費の金額推移でございます。

2022年度においては、国内の新工場建設により 111億円の設備投資を実施致しました。減価償却費199億円であり、償却内の投資となりました。

2023年度においては、引き続き国内の新工場関連、カーボンニュートラル関連投資及びメキシコでの新規ライン投資等により176億円の設備投資となりますが、減価償却費の見込額197億円以内となる見込みでございます。設備投資は稼働ベースであり、2023年度の176億円の内、70億円程度は既に支払いが済んでおります。

2022年度 連結売上 2,856億円



【事業領域】

ここから、弊社グループの事業セグメントについて紹介させていただきます。

AT 2022年度 連結売上

1,816億円（64%）



低速ロックアップ
トルクコンバータ



プラグインハイブリッド
車用ダンパー



湿式クラッチディスク



クラッチアッシー

【AT事業製品】

弊社の事業セグメントの中で構成比率が最も高いのがAT（自動変速装置関連事業）でございます。

2022年度の売上収益は1,816億円、連結売上収益総額に占める構成比は64%です。

AT事業の製品は4輪のAT車で使用されるトルクコンバータ、ダンパー、クラッチ部品などがございます。

MT

2022年度 連結売上

715億円 (25%)



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

9 | 19

【MT事業製品】

もう一つの事業セグメントはMT（手動変速装置関連事業）でございます。
2022年度の売上収益は715億円、連結売上収益総額に占める構成比は25%です。

MT事業の製品は、4輪のMT車で使用されるクラッチでございます。

その他

2022年度 連結売上

326億円（11%）



2輪車用クラッチ

ラフテレーンクレーン用
トランスミッション



建設機械・産業車両用製品



トルクコンバータ

油圧クラッチ

【その他事業製品】

AT事業にもMT事業にも属さない事業をその他事業としております。

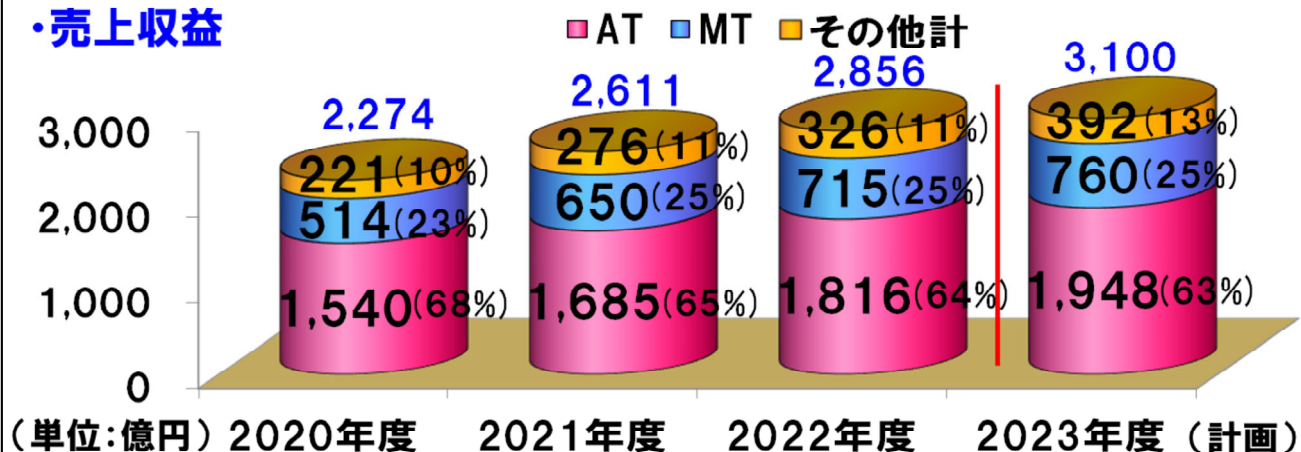
2022年度の売上収益は326億円、連結売上収益総額に占める構成比は11%です。

その他事業の製品は、建設用・産業用機械向けの駆動伝導装置や2輪車用クラッチ、運送業などを含んでおります。

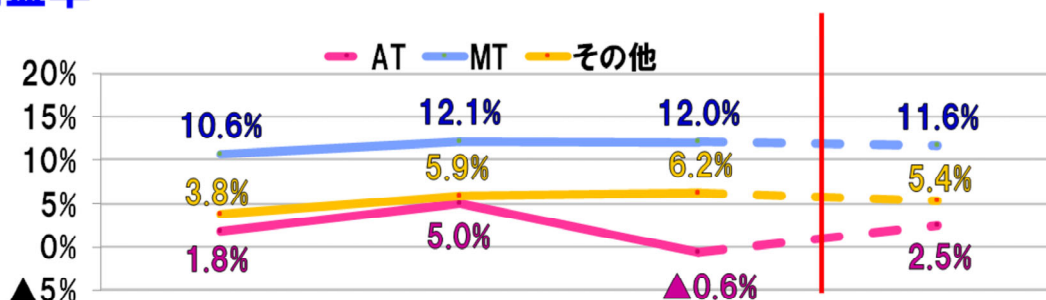
事業別 損益推移

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

・売上収益



・営業利益率



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

11 | 19

【事業別 損益推移】

事業セグメント別の売上高と営業利益率の推移でございます。

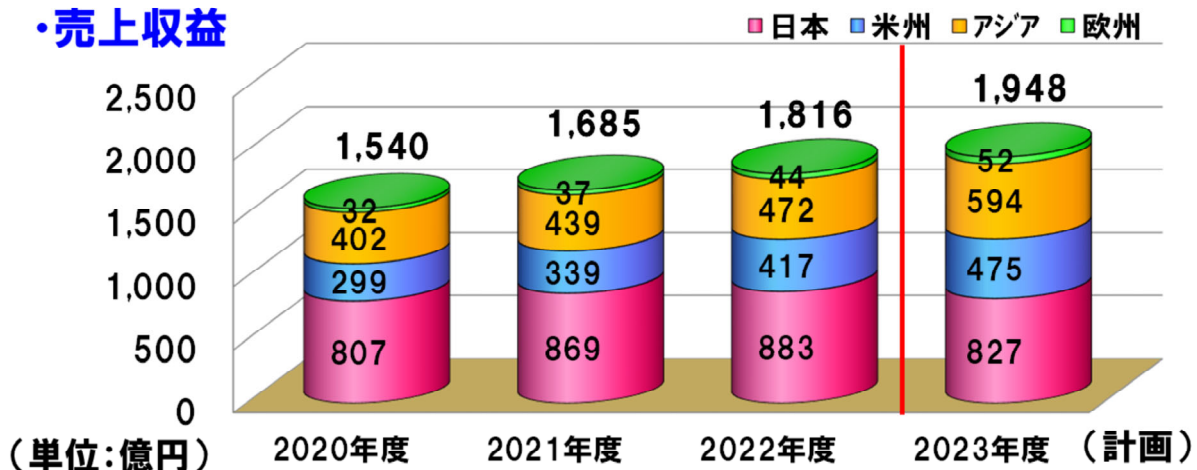
2022年度は全事業セグメントとも受注減少ながら、為替推移及び顧客への売価転嫁による影響で増収となりました。

利益面では、AT事業において米国子会社、国内子会社における減損の影響により利益率は大きく低下し、損失を計上致しました。

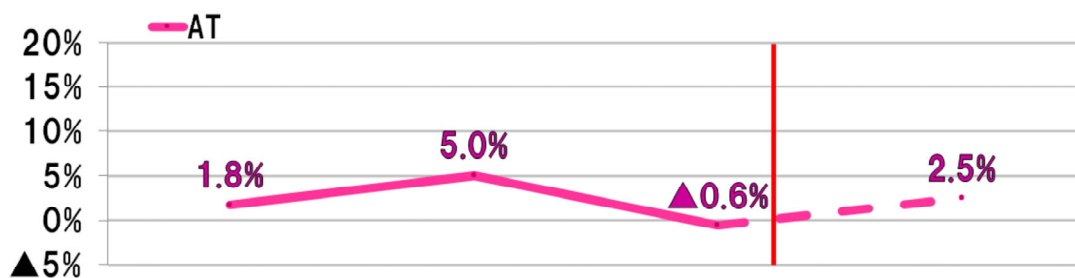
2023年度においては、特に中国のAT事業における受注増加が見込まれ、売上は増加となります。

それぞれの事業セグメントの2023年度の売上収益、利益率の考え方については、後ほどそれぞれのセグメントのページで説明させていただきます。

・売上収益



・営業利益率



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

12 | 19

【売上収益変動内訳 AT】

AT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものがございます。

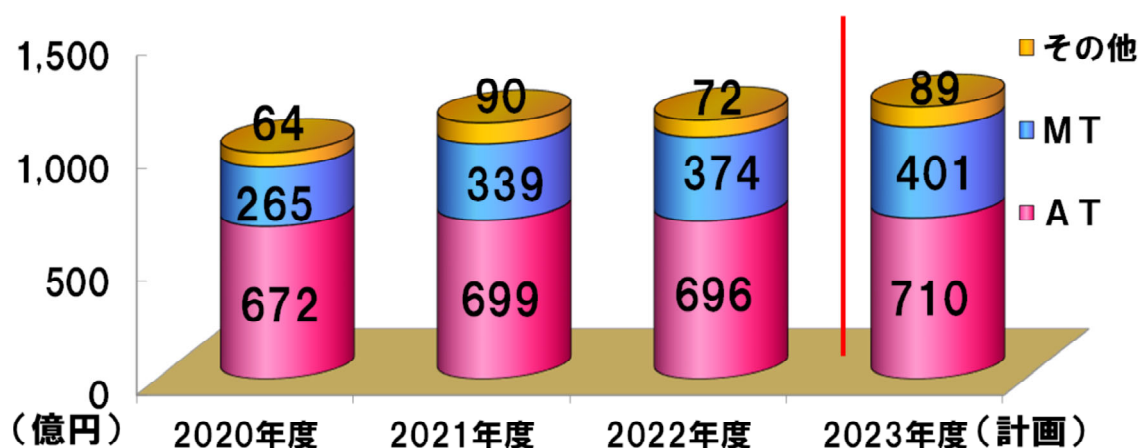
2022年度においては、日本・アジアでの受注の減少がありました。為替及び素材価格上昇の顧客への売価転嫁影響により増収となりました。

受注減少及び国内、米国における減損計上影響により利益率は低下、営業損失を計上致しました。

2023年度においては、中国での受注増により増収を見込んでおり、利益面でも回復を見込みますが、2021年度水準までは回復しない見込みです。

単位:億円

期 間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 計画
売上収益	1,001	1,129	1,141	1,200
営業利益(率)	27 2.7%	64 5.6%	32 2.8%	10 0.8%
税引前利益(率)	62 6.2%	109 9.6%	98 8.6%	45 3.8%
純利益(率)	52 5.2%	87 7.7%	84 7.4%	40 3.3%



【エクセディ (EXD)】

ここからしばらく、AT事業セグメントの主要プレーヤーである各社の業績推移をご覧ください。

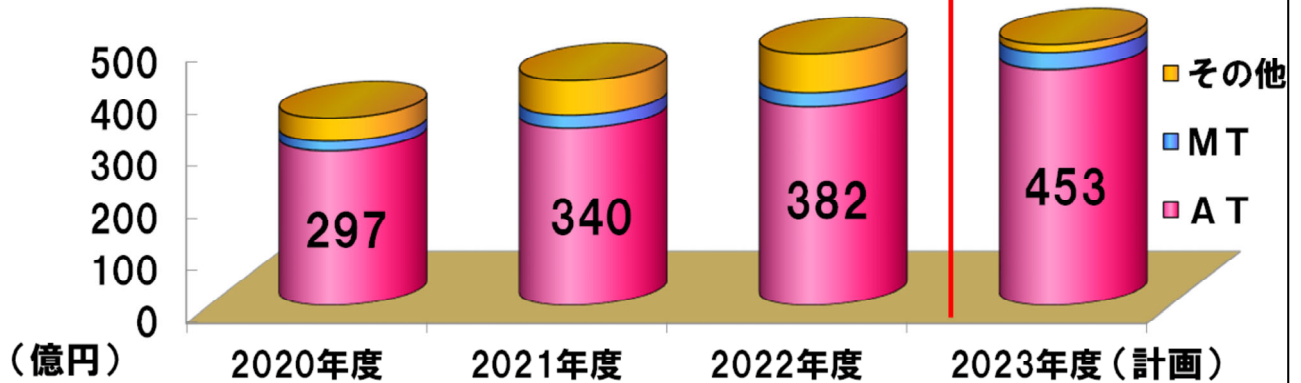
まず、弊社エクセディでございます。

2022年度は増収ですが、これは主に為替と素材価格上昇の売価転嫁によるもので、受注としては減少しております。利益としては受注減・コスト上昇及び開発費の増加により減益となりました。

2023年度は2022年度対比増収を見込みますが、引き続き各種コスト上昇の影響を受け、利益は減少する見込みとなります。

単位:億円

期 間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 計画
売上収益	360	432	483	571
営業利益(率)	26 7.2%	39 9.0%	43 8.8%	34 5.9%
純利益(率)	19 5.3%	34 8.0%	32 6.7%	26 4.5%



【ダイナックス (DNX)】

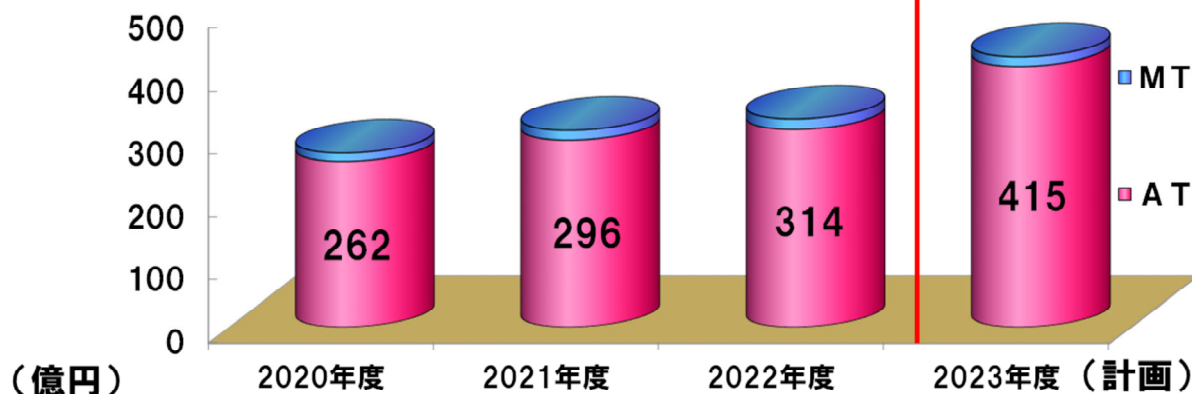
弊社グループ最大の子会社、北海道にあるダイナックスでございます。

2022年度は増収増益となりましたが、EXDと同様コスト上昇の影響を受け、利益率は低下しました。

2023年度は増収の見込みですが、コスト上昇の顧客への売価転嫁影響によるものであり、実質は受注減による利益減少を見込んでおります。

円貨:億円 (外貨:百万元)

期 間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度計画
売上収益	276 (1,764)	312 (1,774)	328 (1,665)	429 (2,142)
営業利益	21 (136)	25 (141)	9 (46)	17 (85)
純利益	13 (83)	16 (94)	2 (10)	10 (52)



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

15 | 19

【エクセディダイナックス上海 (EDS)】

中国、上海に所在するエクセディダイナックス上海でございます。

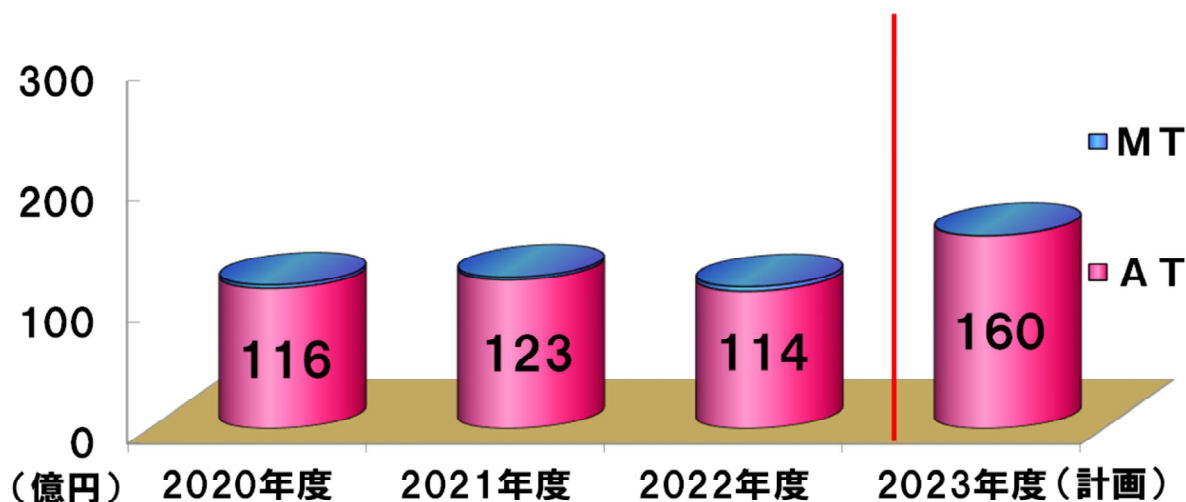
2022年度は、換算影響により見かけ上は増収ですが、ゼロコロナ政策の転換等による混乱とそれ以降の中国市場の冷え込みにより受注は減少となりました。

受注減少及び販売構成の変化にともない利益も減少となりました。

2023年度は需要回復による増産を見込んでおり利益は増加となりますが、利益率は販売構成の変化により2021年度の水準までは回復しない見込みです。

円貨:億円 (外貨:百万USD)

期 間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度計画
売上収益	118 (112)	125 (110)	117 (87)	160 (121)
営業利益	▲44 (▲42)	▲3 (▲3)	9 (6)	1 (1)
純利益	▲31 (▲30)	▲3 (▲2)	8 (6)	0 (0)



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

16 | 19

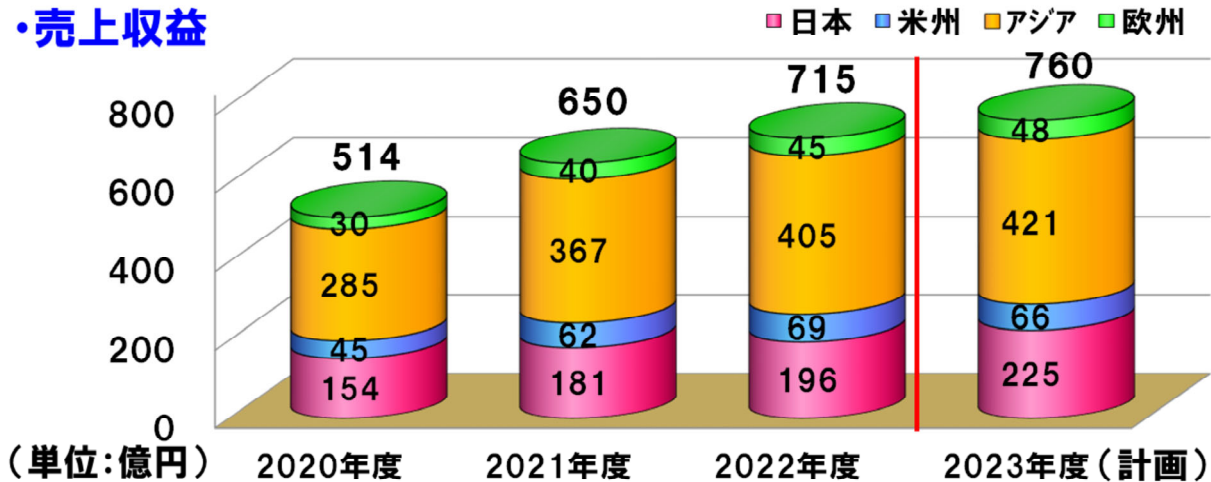
【エクセディダイナックスメキシコ (EDM)】

メキシコ、アグアスカリエンテスにあるエクセディダイナックスメキシコです。

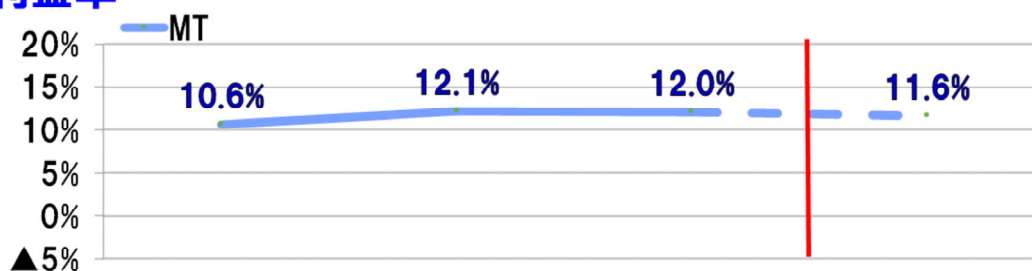
2022年度については、半導体不足の影響により受注が減少しましたが、顧客からの補償受領により利益は増加しました。

2023年度は、新規モデルの立ち上がりを計画しており売上は増加、利益も増加の見込みですが、採算は大きく改善しない見込みです。

・売上収益



・営業利益率



【売上収益変動内訳 MT】

MT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものでございます。

2022年度においては、日本アジアで受注減少となりましたが、日本においては主にコスト上昇の売価への転嫁により、アジアにおいては為替の影響により売上収益は増加致しました。

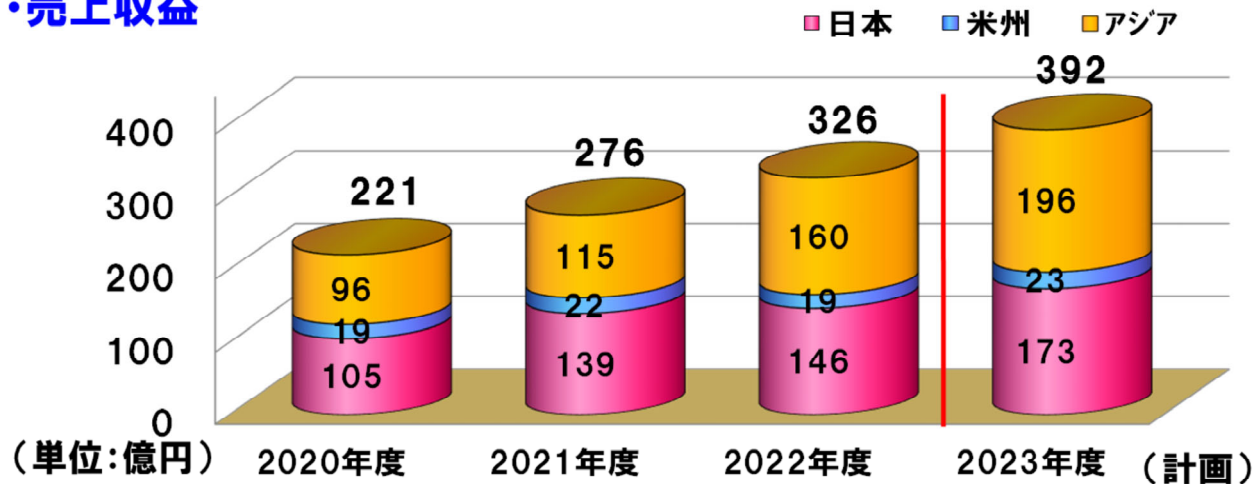
2023年度においては、アジアでの受注増加による増収を見込んでおります。

利益面においては、売上収益の増加はあるものの、コスト上昇の影響を受け、利益率は若干低下して11.6%となる見込みです。

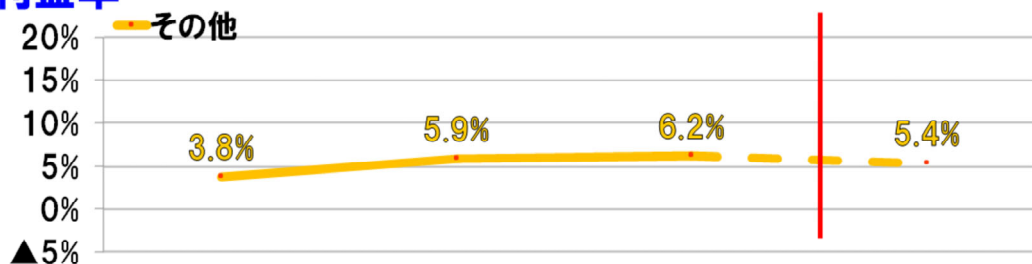
売上収益変動内訳 その他

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

売上収益



営業利益率



株式会社エクセディ 管理本部 | 2023/6/12

18 | 19

【売上収益変動内訳 その他】

その他事業セグメントの売上収益を地域別に見たものがございます。

2022年度においては、アジアでの2輪事業における受注増加及び為替影響により売上収益が増加しました。

2023年度においては、アジアの2輪事業にて売上増加が見込まれるため、増収の見込みとなっております。

利益面に関しては、売上収益は増加するものの、コスト上昇の影響で営業利益率は5.4%へ低下するものと見込んでおります。

ご清聴ありがとうございました。



以上、2022年度の決算概要、および2023年度の見込についてご説明申し上げました。

ありがとうございました。

なお、本資料以外にも下記の資料を公開しておりますので、ご覧ください。

- ・ 2022年度決算報告：弊社社長の吉永より、中期的な数量見込や長期的な取り組み内容などについてご説明申し上げます。
- ・ EXEDY NOW : 連結・単体の財務諸表やグループ各社の財務数値などを記載したデータブックでございます。